

**製品名: PP2A-B56- $\delta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16395**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPP2R5D
別名	PPP2R5D; Serine/threonine-protein phosphatase 2A 56 kDa regulatory subunit delta isoform; PP2A B subunit isoform B'-delta; PP2A B subunit isoform B56-delta; PP2A B subunit isoform PR61-delta; PP2A B subunit isoform R5-delta
遺伝子 ID	5528.0
SwissProt ID	Q14738
免疫原	抗血清はヒト PPP2R5D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 544-593

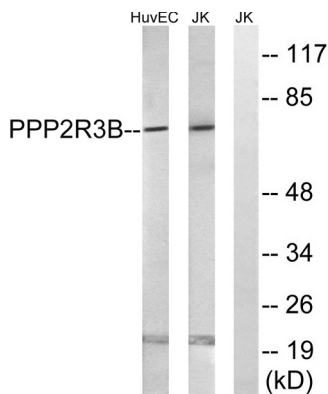
**背景**

この遺伝子産物は、ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B ファミリーに属します。タンパク質ホスファターゼ 2A は、4つの主要な Ser/Thr ホスファターゼの1つであり、細胞の成長と分裂の負の制御に関与しています。触媒サブユニットと定常調節サブユニットからなる共通のヘテロ多量体コア酵素で構成され、さまざまな調節サブユニットと会合しています。B 調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節する可能性があります。この遺伝子は、調節サブユニット B56 サブファミリーのデルタアイソフォームをコードしています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: B 調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節し、特定の細胞内区画への触媒酵素の局在を指示する可能性があります。誘導: レチノイン酸による;神経芽腫細胞株において、リン酸化タンパク質 PP2A は、DNA 損傷時にリン酸化され、おそらく ATM または ATR によって引き起こされます。類似性: ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B56 ファミリーに属します。細胞内局在: 間期には核内、有糸分裂時には核内。サブユニット: PP2A は、36 kDa の触媒サブユニット (サブユニット C) と 65 kDa の定常調節サブユニット (PR65 またはサブユニット A) からなる共通のヘテロ二量体コア酵素で構成され、さまざまな調節サブユニットと会合します。コア二量体と会合するタンパク質には、3つの調節サブユニット B ファミリー (R2/B/PR55/B55、R3/B"/PR72/PR130/PR59、および R5/B'/B56 ファミリー)、48 kDa の可変調節サブユニット、ウイルスタンパク質、および細胞シグナル伝達分子があります。SGOL1 と相互作用する。組織特異性: アイソフォーム Delta-2 は広く発現している。アイソフォーム Delta-1 は脳で高発現している。、

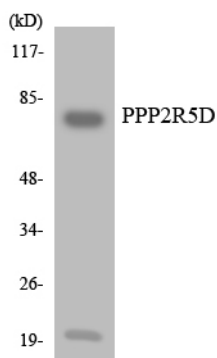
## 研究分野

卵母細胞減数分裂;WNT;WNT-T 細胞

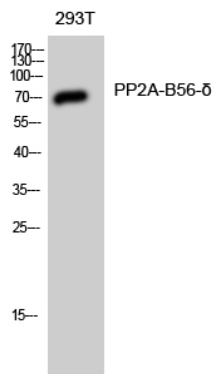
## 画像データ



PPP2R5D 抗体を用いた Jurkat 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PPP2R5D 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



PP2A-B56-δ ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析